

OpenOffice.org オープンオフィス にしませんか？

会津若松市が導入した無償オフィスソフト

会津若松市情報政策課

この文書のライセンスは以下のとおりです。

クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1日本

<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>



この資料について

この資料を通じて、会津若松市
が取り組んでいる、オープンオ
フィス・オープンドキュメントの導
入についてお伝えします。

この資料について

会津若松市では、「オープンオフィス」と「オープンドキュメント」を活用して、公共サービスの向上や行政コストの削減、公文書保存の適正化に取り組んでいます。

この資料は、市の取り組みを市民の皆さんに理解して頂き、メリットを共有して頂くために作成しました。

これまでは、市の作成した申請様式などの文書へ記入を行うには、特定のソフトウェアを購入する必要がありました。

オープンオフィスとオープンドキュメントを活用することで、市の作成した文書は、誰でも負担無く利用することが出来るようになります。

会津若松市が保有している840台のパソコンでは、現在、オープンオフィスを使用して日々の業務を行っています。

オープンオフィスに興味があっても利用に踏み出せずにいる方は、是非この資料をご覧頂き、まずはお使いのパソコンで利用してみたいと思います。

OpenOffice.org オープンオフィス とはなんですか？

会津若松市は、オープンオフィスを全庁に導入して、コストの削減や公共サービスの向上に役立っています。

この「オープンオフィス」とはどのような物なのでしょう？

オープンオフィスとはなんですか？

「オープンオフィス」とは、

- ・ワープロ機能
- ・表計算機能
- ・プレゼンテーション機能

などを持った、パソコンで文書作成をする為の「オフィスソフト」です。

「オープンオフィス」は、インターネットなどで無償で配布されており、誰でも自由に自分のパソコンにインストールして、利用することができます。



また、「オープンオフィス」は、パソコンで作成される文書の国際標準規格「オープンドキュメント」を作成・編集することができます。

オープンドキュメントで作成された文書は、無償のオープンオフィスを始め、対応する様々なオフィスソフトを自由に選択し、編集を行うことができます。

これは、今までにない画期的な事なのです。

無償
自由

オープンオフィスは、賛同者が協力しあい、インターネット上で開発が行われています。

この開発方法は、ソフトウェアの設計書(ソース)が一般に公開されていることから、「オープンソース」と呼ばれ、オープンオフィス以外にも、様々な優れたソフトウェアが開発されています。

今でも世界中の人たちが、オープンオフィスの開発を続けています。

OpenOffice.org オープンオフィス で、何が出来ますか？

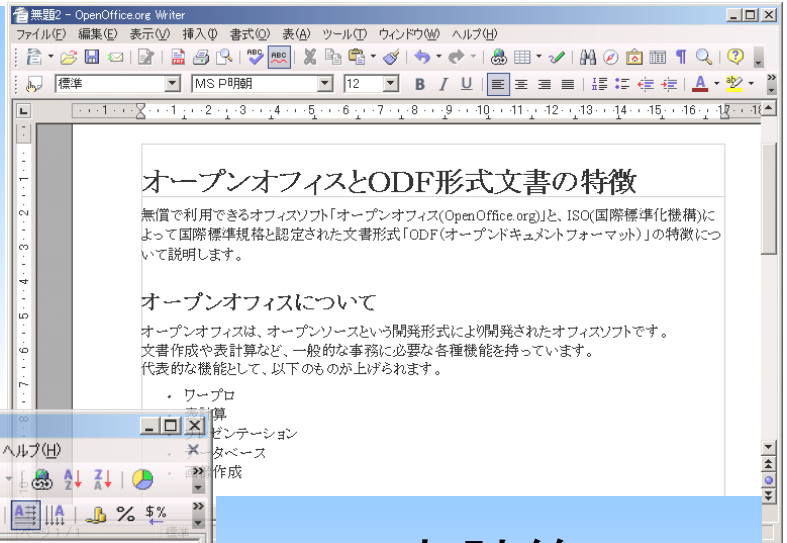
会津若松市が利用している
オープンオフィスで、何が出来る
のでしょうか？

オープンオフィスで、何が出来ますか？

「オープンオフィス」には、以下の代表的な機能が
あります。

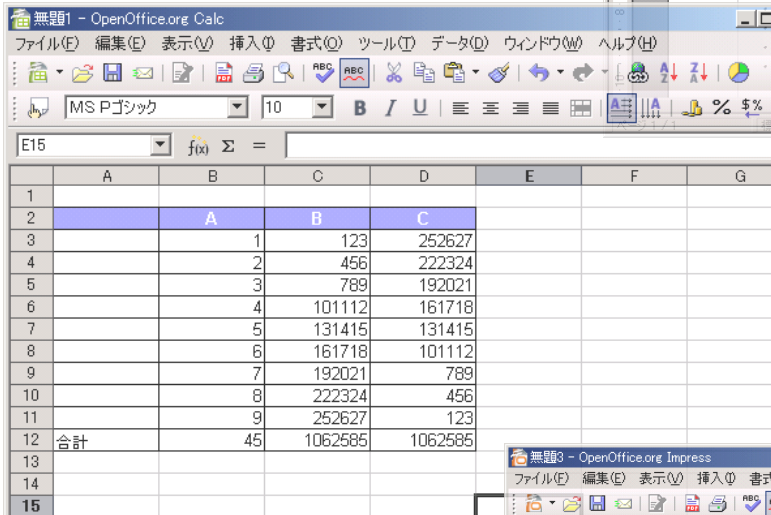
ワープロ

豊富な編集機能やスタイル設定
を利用して、本格的な文書作成を
行うことができます。



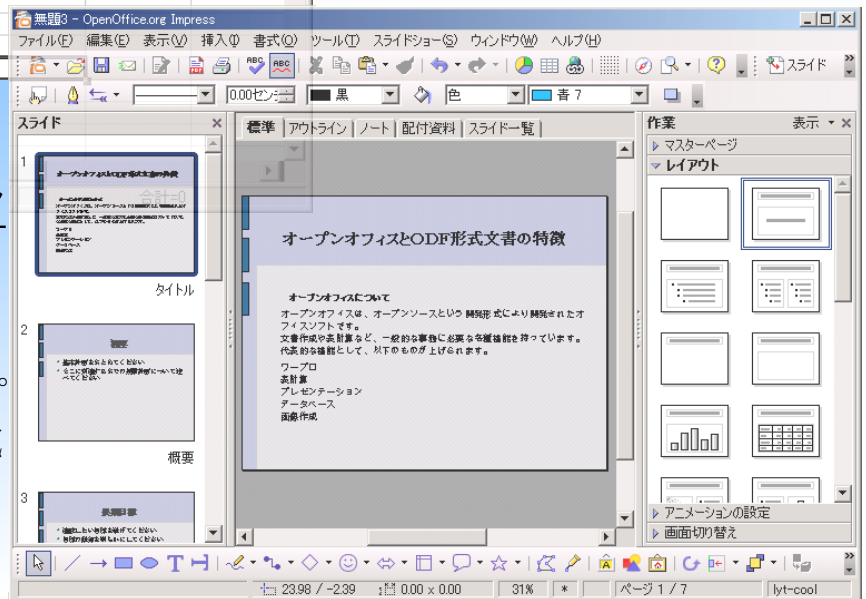
表計算

一般的な計算表から、マクロ
を利用した本格的な集計シス
テムまで、柔軟に作成するこ
とができます。



プレゼンテーション (スライド機能)

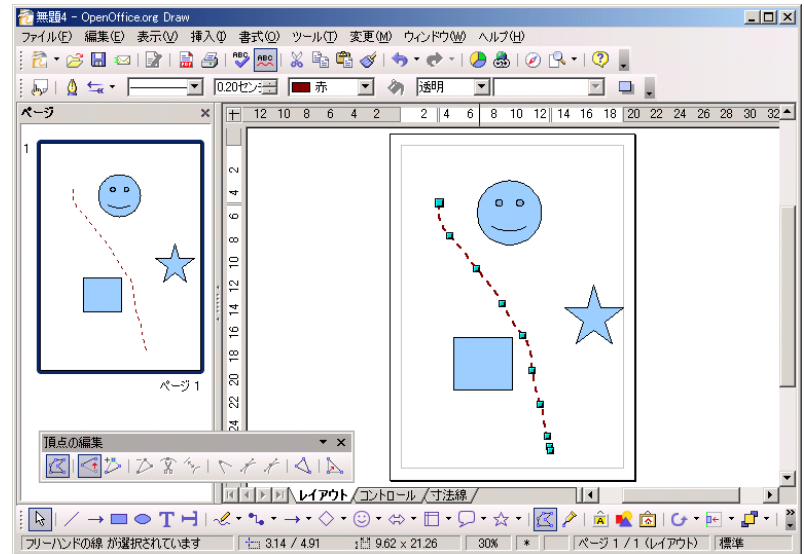
多種多様なアニメーション
機能を駆使して、効果的なプ
レゼンテーション資料を作成
することができます。



オープンオフィスで、何が出来ますか？

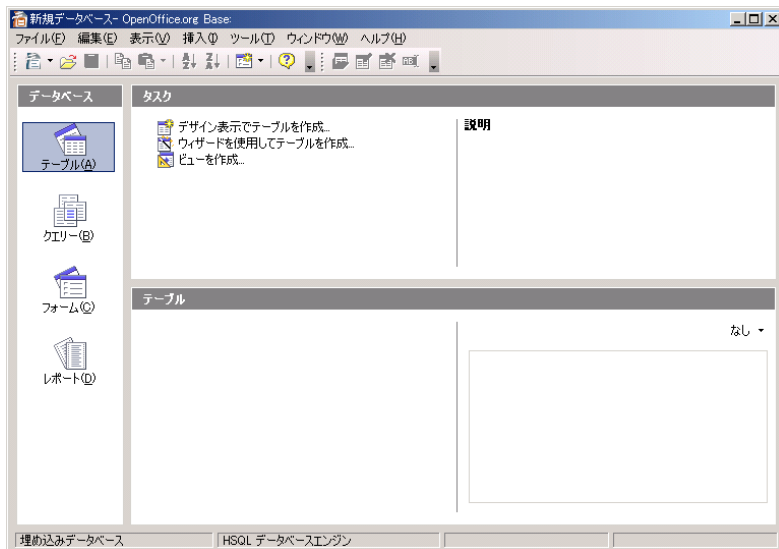
図形描画

本格的な機能を備えた図形作成ツールです。
手軽なイラスト作成から、立体スキャナ連携などの業務利用まで利用することが出来ます。



データベース

大量のデータを活用した、文書作成など、様々な作業が可能です。



これらの便利な機能を使って、
日常必要な文書の作成を行う
ことが出来ます。

オープンオフィスで、何が出来ますか？

他にも以下の様な機能があります。

- 他のオフィスソフトで作成された文書を、編集することが出来ます。
(多少の修正が必要な場合があります)
- オープンオフィスで作成した文書は、他の様々な対応ソフトで編集を行うことが出来ます。
- PDF文書を作成することが出来ます。
- PDF文書を編集することが出来ます。
(追加機能により)
- 様々な機能を追加することで、より便利に利用することが出来ます。
- オープンドキュメント形式の文書を編集することが出来ます。
※オープンドキュメントについては、後で詳しく述べます。
- Linuxなどの様々なパソコン環境で利用することが出来ます。
- USBメモリで持ち運び、外部のパソコンでも起動できるタイプがあります。

OpenOffice.org オープンオフィス で、出来ないことは？

会津若松市が利用している
オープンオフィスで、何が出来る
のでしょうか？

オープンオフィスで、出来ないことは？

オープンオフィスは無償でありながら非常に高機能なソフトウェアですが、以下の様な点に気をつける必要があります。

- オープンドキュメント以外の文書が型崩れする場合があります。

他のオフィスソフトで作成された文書を編集する際には、必要なレイアウト修正を加えた上で利用してください。

- 罫線に点線・破線などを使用できない場合があります。

代わりに二重線などが豊富に用意されていますので、これらの線種を活用して文書をデザインしましょう。

- フォント(文字デザイン)が含まれません。

デザイン文字を利用したい場合には、インターネットなどから別途入手する必要があります。

また、年賀状作成ソフトなどからも入手可能です。

参考:「自由に使えるオープンソースの日本語フォント」

<http://sourceforge.jp/magazine/09/04/27/0313213>

- イラストなどの素材が含まれません。

インターネットで豊富な素材が配布されていますので、別途入手して利用ください。

参考:「日本語環境改善拡張機能」

http://sourceforge.jp/projects/openoffice-docj/releases/?package_id=9481

- 宛名ラベルや文書テンプレートがありません。

イラストと同様に、インターネットで豊富な素材が配布されていますので、別途入手して利用ください。

参考:「日本語環境改善拡張機能」

http://sourceforge.jp/projects/openoffice-docj/releases/?package_id=9481

- メーカーによるサポートや保証がありません

トラブルが発生した場合には、インターネット上の情報を活用することで問題を解決できます。

OpenOffice.org オープンオフィス で困ったら どうしたらいいですか？

オープンオフィスで困ったときには、専門書で調べるなどの他に、インターネットという頼れる味方があります。

オープンオフィスで困ったらどうしたらいいですか？

オープンオフィスには、市販のオフィスソフトのようなメーカーによるサポートがありません。
操作などで分からない事があった時は、以下の方法で解決する事が出来ます。

インターネット検索を活用する

インターネットには、オープンオフィスに関する様々な情報が溢れています。まずは、インターネット検索を使って、有効な情報を探してみると良いでしょう。

「オープンオフィス 印刷できない」
「Writer 文字 書式」

などの様に、複数の言葉を使って条件を絞り込み、上手く必要な情報を見つけ出すことで、手早く問題を解決できます。

ガイドブックなどのマニュアルを活用する

オープンオフィスの使用方法を、冊子の形式でまとめたものが欲しくなる場合もあります。

そういった場合には、有志の方が作成した、様々なマニュアルを、インターネット上から手に入れることが出来ます。

オープンガイドブック OpenOffice.org2.0

<http://oosupport.good-day.net/ja/documents/manual/#openguidebook-OOo2.0>

オープンオフィス 3 入門ガイド

http://openoffice-docj.sourceforge.jp/wiki/Documentation/Beginners_guide3

オープンオフィスで困ったらどうしたらいいですか？

利用者コミュニティを活用する

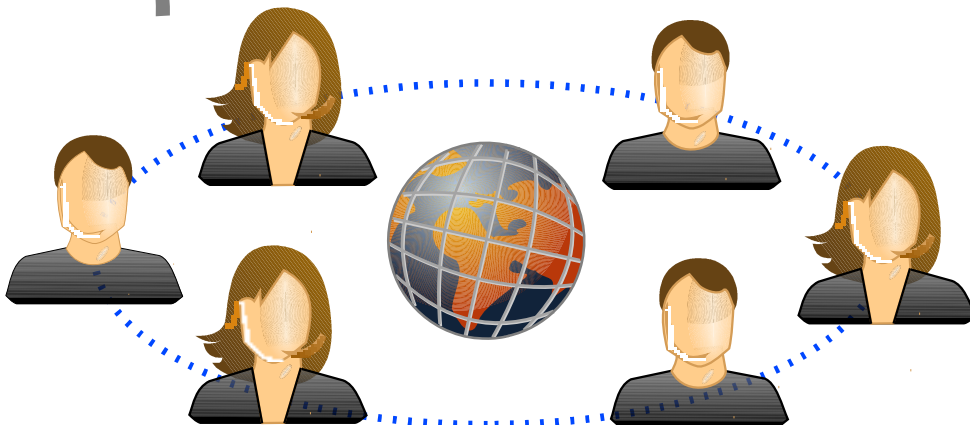
インターネットには、オープンオフィスの使い方について、利用者同士で助け合いを行っているサイトがあります。

- 日本語プロジェクト コミュニティフォーラム
<http://user.services.openoffice.org/ja/forum/index.php>
- 日本ユーザー会 Q&A
<http://oooug.jp/faq/>

これらのサイトで、他の利用者の助けを得ることも、ひとつの方法です。ただし、あくまで個人の利用者のコミュニケーションの場ですので、最後にはお礼の言葉を添えるなどの配慮が必要です。

また、他の困っている利用者の問題解決を手伝うなどして、お互いに協力して行きましょう。

たすけあい



オープンオフィスで困ったらどうしたらいいですか？

専門書を購入する

オープンオフィスの専門書を、書店で購入することも出来ます。
詳しくはお近くの書店にお問い合わせください。

※ 地域振興のため、市内の書店を利用しましょう！

企業の有料サポートを利用する

オープンオフィスの有料サポートを行っている企業もあります。
有料サポートでは、確実な問題解決を受けることが出来ます。
また、移行コストの算定が明確になるなど、様々なメリットがあります。



OpenOffice.org オープンオフィス は、どこで入手できますか？

オープンオフィスはインターネットで配布されています。
どこに行けばオープンオフィスを手に入れられるのでしょうか？

オープンオフィスは、どこで入手できますか？

オープンオフィスは、次の方法で入手することができます。

インターネットからダウンロードする

オープンオフィスは、インターネットから無償でダウンロードすることができます。

また、「OpenOffice.org 日本語プロジェクト」ホームページを利用することで、最新版をすぐに入手することが可能です。

※ダウンロードには、ブロードバンド環境を利用することをお勧めします。

OpenOffice.org 日本語プロジェクト
<http://ja.openoffice.org/>

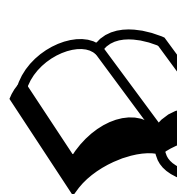


CD-ROMからインストールする

オープンオフィスは、書店で販売されている書籍の、付録のCD-ROMなどから入手することも可能です。

CD-ROMを使うと、インターネット環境の無い方でも手軽にオープンオフィスを入手できます。

詳しくは、地域の書店に問い合わせてください。



会津若松市は
どんな取り組みを
行っていますか？

会津若松市では、どんな活動
を行っているのでしょうか？

会津若松市は、どんな取り組みを行っていますか？

公文書を国際標準化します

パソコンで作成される公文書を、国際標準規格である「オープンドキュメント形式」に移行します。

オープンドキュメント形式は、文書データの内部構造が公開されているため、誰でも対応するオフィスソフトを作成することが可能です。

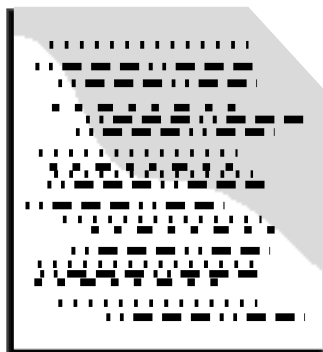
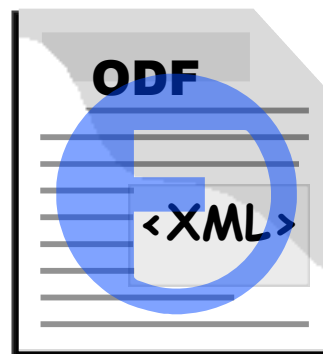
このため、オープンオフィスを初めとする、多種多様なオフィスソフトを使って、文書を編集することが可能となります。

また、文書の取り扱いが、特定のソフトに依存するなどの問題がなくなる為、長期保存されている重要文書を取り扱おうとする際に、対応するソフトが無くなってしまふ、といった事態を避けることができます。

同様に、特定のオフィスソフトへの依存度が高くなることで、他のソフトウェアに移行することが出来なくなってしまう、「ベンダーロックイン」と呼ばれる事態を避けることができます。

これらの事から、公文書の運用を適正化することや、コストの削減を図ることが出来ます。

よめました！



よめません・・・。

会津若松市は、どんな取り組みを行っていますか？

パソコン購入費用を削減します

現在、会津若松市役所では、事務作業用として約840台のパソコンが稼動しています。

これまでは、この約840台のパソコンで利用するオフィスソフトに、約1750万円以上の経費が必要でした。

無償で利用できる、オープンオフィスを活用することで、オフィスソフトの購入にかかる費用を、約1500万円削減する計画です。

この金額は、これまで使用してきたオフィスソフトのうち、15%程度は継続して使い続ける必要があると見込んで、

$$\text{約 1750 万円} \times 85 \% = \text{約 1500 万円}$$

として算定しています。

この費用効果は、定期的に有償ソフトウェアを購入し続けた場合を想定すると、長期にわたってオープンオフィスを利用することで、さらに大きくなります。

また、市民の皆さんの場合、利用されているオフィスソフトの価格プランによって、金額は大きく変わります。

会津若松市は、どんな取り組みを行っていますか？

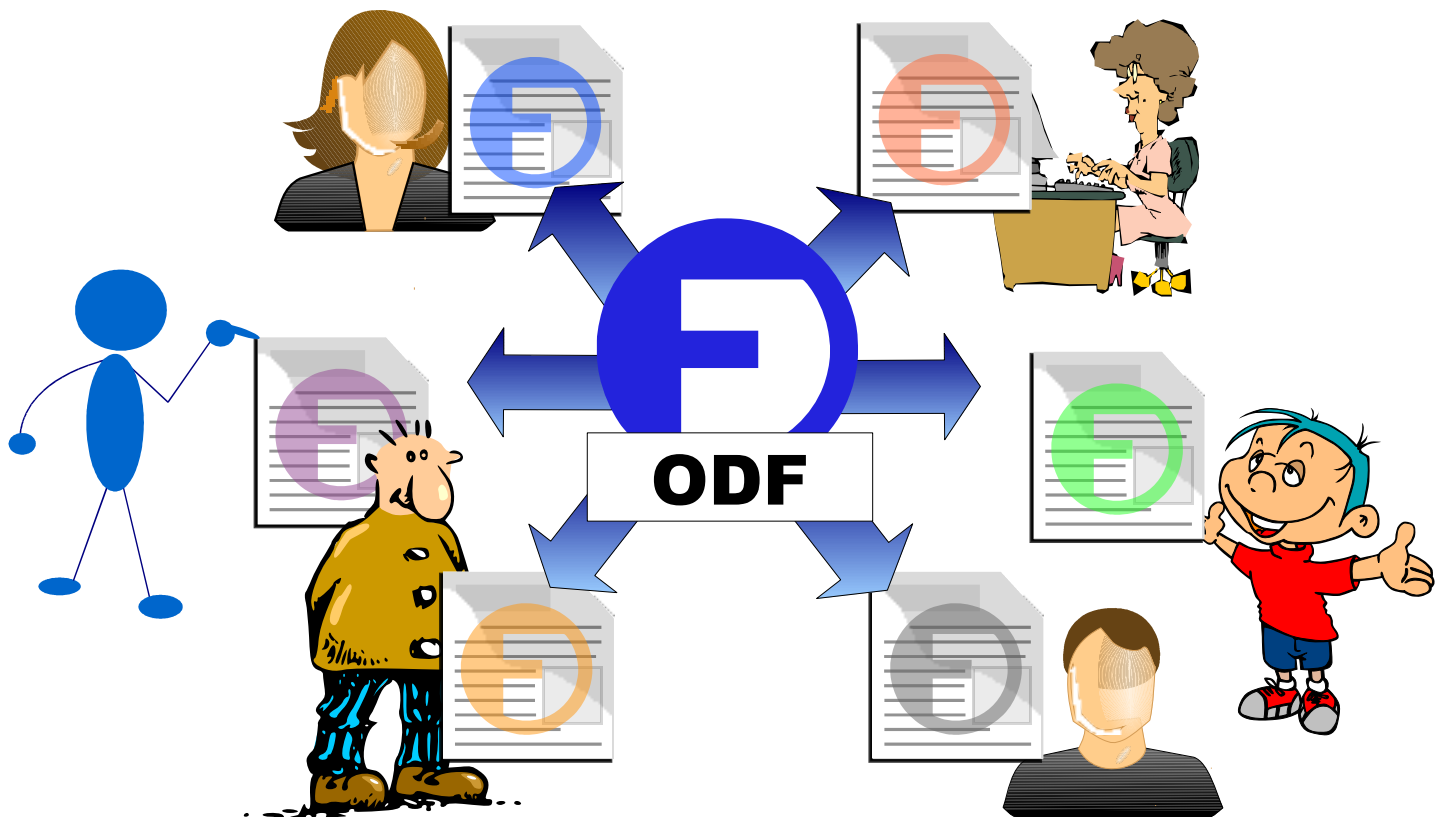
公共サービスを向上します

市では、市民の皆さんが申請の際などに利用できる、各種の申請様式などを、ホームページ上に掲載しています。

これまで、これらの申請様式を市民の皆さんが利用するためには、有償のソフトウェアを利用しなければならない場合が多くありました。

これらの文書をオープンドキュメント形式にすることで、無償のオープンオフィスを始めとする、様々なオフィスソフトから、市民の皆さんが好きなものを選んで編集を行うことが出来るようになります。

また、市民の皆さんが、誰かに文書を送付する場合にも、オープンドキュメント形式を送付することで、先方が有償のソフトウェアを購入するための費用を負担しなくても、文書を取り扱うことが出来るようになります。



会津若松市からの提案

会津若松市では、どんな活動
を行っているのでしょうか？

会津若松市からの提案

まずは、全てのパソコンにオープンオフィスを！

会津若松市の取り組みを見て、大げさな話で手をつけにくいという印象を受けた方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、実際にはまったく身構えるような話では無いことを理解してください。

— 多数の導入事例があり、そして会津若松市にも出来たのです —

もしも不安が拭えない時は、失敗のリスクの無い、気軽に行える取り組みをひとつ提案します。

それは「職場の、自宅のパソコン全てに、まずはオープンオフィスをインストールしてみる事」です。

それだけで、既に社会的に高まりつつある、顧客が団体・企業に対してオープンドキュメントへの対応を求める風潮に対応することが出来ます。

そして、オープンオフィスを、ご自分の手で触ってみてください。

気に入っていただけたら、是非、会津若松市の取り組みを応援して頂きますようお願いいたします。

会津若松市では、オープンオフィス・オープンドキュメント導入の取り組みを情報公開しています。

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/ja/shisei/torikumi/ooo/index.htm>

組織内導入の手引き

会津若松市による導入経験から、いくつかの手引きをご案内します。

組織内導入の手引き

ソフトランディングを目指しましょう！

- オープンオフィスの導入・運用は、オープンオフィス自体や環境が成熟してきたことから、もはや身構える必要の無いものになってきました。
- しかしながら、「他が成功したから大丈夫」と、準備もなく無理に移行してしまうと、現場に大きな負担を掛けてしまいます。
- なるべく早めに提案を始め、不安の声には、即座に対応策を打ち出すなど、現場の人間が不安を抱かなくて済むように、最大限の配慮をしましょう。
- また、配布文書などをオープンドキュメントで作成し、これまで同様の文書が作成できることを手にとって実感して貰うのも良いでしょう。
- 既存文書のオープンドキュメントへの移行は、一気に行ってしまうのではなく、取り扱う必要のあるものから、徐々に移行していくことで、日常業務の範囲で吸収することが出来ます。

オープンドキュメントへの移行を軸にしましょう

- オープンオフィスは、オープンドキュメントの編集において、本来の機能を発揮します。
- 既存文書を、オープンドキュメントへの変換を行わずにそのまま編集し続けた場合、レイアウトの崩れなどが常態化してしまい、業務効率の低下を招く可能性があります。
- 既存文書の編集機能はあくまで2次的なものであることを念頭に置き、オープンドキュメントへの移行を軸に導入を進めましょう。

移行期限を明確にしておきましょう

- ソフトランディングを目指しつつも、移行期限は明確にしておくことが重要です。
- 「〇年〇月〇日からはオープンドキュメントに完全移行します」と、期限を明示しておきましょう。

組織内導入の手引き

孤立者を出さないようにしましょう

- 試験導入を行う場合は、一定の集団単位で運用を行いましょう。
- 少人数のテスターをバラバラに配置すると、周囲の環境との違いから、業務効率が低下してしまい、評価の低下に繋がります。
- また、テスター集団は、必ずオープンドキュメントでの業務遂行を行うようにしまししょう。手になじんだ以前のオフィスソフトを使い続ける限り、実際の業務効率を
■ 図ることができません。

迅速なサポートを心がけましょう

- パソコンの導入費用に直面している情報部門とは違い、現場では作業効率が第一に優先されます。オフィスソフトの移行を理解して貰うには、作業効率の維持に最大限の配慮を行う必要があります。
- 当市の場合、サポート掲示板を設置し、質問が投稿されると担当者全員にメールで通知が届くという体制でサポートを行っています。
- この他に、電話とVNCを併用しての即時サポートも行っています。
- 現場で発生する問題は、殆どが数分で解決できるものですが、サポートが解決しない限り業務は停滞します。
- サポートはレスポンスを最大限に重視しましょう。

味方を作りましょう

- 新しい技術に興味のある、ある程度パソコンの扱いに慣れた使用者は、操作性の変化による負荷にもある程度の理解を示してくれ、周囲へのサポートも積極的に
■ 行ってくれるかもしれません。
- また逆に、普段オフィスソフトの基本機能しか利用していない初級者は、操作性の違いにあまり影響されません。
- 基本的な編集操作が同様に行えることを早めに理解して貰い、積極的に利用して貰える様に働きかけましょう。

組織内導入の手引き

共通文書を活用しましょう

- 組織内で共通に利用している文書は、オープンドキュメント移行の大きなきっかけになります。
- 組織全体を対象に、申請・報告などの文書を発行している所属の協力を取り付け、共通文書を優先してオープンドキュメントに移行していきましょう。
- また、組織全体での共通文書作成を、初めて行う際には、何かとトラブルが発生するものです。
- 使用者から、文書を訂正する必要がある問題が報告された場合には、即時修正を行い、最新版を再送付できる体制を整えておきましょう。

使用頻度の高い機能をマスターしておきましょう

- 差し込み印刷機能や、「スタイルと書式設定」などは、オープンオフィスを活用していく上で非常に大きなウェイトを占めており、また、使いこなすことで文書作成が非常に楽しくなる機能でもあります。
- 質問が寄せられた際に、迷い無くサポートが出来るように、これらの機能をマスターしておきましょう。

小さなPRを継続しましょう

- オープンオフィスには、独自の便利な機能や、アイデア溢れる拡張機能など、他には無い魅力が多くあります。また、効率的に操作を行うためにノウハウも、使用を続ける中で数多く見つけることができます。
- そういった新しい情報を発見したら、メールや掲示板などを活用して、こまめに組織内にPRを行いましょう。使用者の興味を引きつけ、新たな発見を促すことで、使用率や業務効率の向上に結びつけることができます。
- また、あたりまえ過ぎると感じる機能でさえ、意外と使用者は知らないものです。便利な機能は何度でもPRを行い、知ってもらおう努力を続けましょう。
- 既存文書を手早く開くには
文書を右クリック>プログラムから開く> swriter scalc
- PDFを出力・編集する機能
- 差し込み機能の使用法 などなど…

現場との信頼関係を構築し、オープンオフィス・オープンドキュメントへの移行を成功させましょう！